

公益社団法人日本地震学会 2014 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 4 月 30 日 (水) 19 時 05 分～20 時 10 分

2. 開催場所 パシフィコ横浜会議センター 411 室

3. 総社員数 140 名

4. 出席社員数 出席代議員総数 116 名 (定足数 71 名)
内通常代議員 101 名
役員代議員 15 名
出席代議員数 (本人出席) 78 名
出席代議員数 (委任状出席) 38 名

5. 議長 通常代議員 久家 慶子

6. 出席役員

理事 (会長)	加藤 照之
理事 (副会長)	西澤 あずさ
理事 (常務理事)	岡元 太郎
理事	井出 哲
理事	香川 敬生
理事	加藤 尚之
理事	小泉 尚嗣
理事	関口 渉次
理事	田所 敬一
理事	堀川 晴央
理事	松原 誠
監事	平原 和朗
監事	鈴木 善和

7. 議事録作成者 事務局 中西 のぶ江

8. 決議事項

第 1 号議案：平成 25 年度事業報告書承認の件
第 2 号議案：平成 25 年度収支決算報告書承認の件
第 3 号議案：理事及び監事選任の件
第 4 号議案：外部監事選任の件
第 5 号議案：名誉会員承認の件

9. 報告事項

1. 平成 26 年度事業計画の件
2. 平成 26 年度収支予算の件
3. その他

10. 議事の経過の要領及びその結果

岡元常務理事から、定足数を充たす社員の出席が認められたので、定款第 32 条により公益社団法人日本地震学会 2014 年度定時社員総会を開催する旨の宣言があり、その後加藤会長より挨拶があった。引き続き議長に久家慶子氏を選出した。議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり、加藤照之会長、西澤あずさ副会長の理事 2 名を議事録署名人に選任したい旨を諮り、満場一致でこれを可決した。続いて、次の議案について逐次審議することとなった。

第 1 号議案

平成 25 年度事業報告書承認の件
議長の指名により、岡元常務理事から平成 25 年度の事業報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、特に質疑応答なく全会一致で本議案を承認した。

第 2 号議案

平成 25 年度収支決算報告書承認の件
議長の指名により、加藤会計担当理事から平成 25 年度の収支決算報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、特に質疑応答なく全会一致で本議案を承認した。

第 3 号議案

理事及び監事選任の件
議長の指名により、岡元常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨の説明が行われた。理事候補者 15 名、監事候補者 2 名の選任について候補者 1 名毎に審議した結果、全会一致でこれを承認した。選任された理事及び監事は以下の通りである。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

理 事	加藤	照之
理 事	今西	和俊
理 事	内田	直希
理 事	香川	敬生
理 事	加藤	愛太郎
理 事	中川	和之
理 事	中島	淳一
理 事	日野	亮太
理 事	平松	良浩
理 事	古村	孝志

理 事	堀川	晴央
理 事	望月	公廣
理 事	山岡	耕春
理 事	山田	卓司
理 事	山野	誠
監 事	川崎	一朗
監 事	武村	雅之

第4号議案 外部監事選任の件
 議長の指名により、岡元常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる外部監事に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨、説明が行われた。これに対して、議長は議案を諮り、引き続き鈴木善和氏の外部監事選任を、全会一致で承認した。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

第5号議案 名誉会員承認の件
 議長の指名により、岡元常務理事から石田瑞穂氏、深尾良夫氏を名誉会員に推挙する件について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、全会一致で承認した。

報告事項 1. 平成26年度事業計画の件
 平成25年度第7回（平成26年3月19日開催）理事会で承認された平成26年度事業計画について、岡元常務理事から配布資料に基づき説明が行われ、これについての質疑応答があった。

報告事項 2. 平成26年度収支予算書の件
 平成25年度第7回（平成26年3月19日開催）理事会で承認された平成26年度収支予算について、加藤会計担当理事から配布資料に基づき説明が行われ、これについての質疑応答があった。会計について年に一回の決算報告だけではなく、可能な情報は早めに開示する方がよいのではないかという趣旨の発言があり、対応を次期理事会に申し送る旨の回答が会計担当理事からなされた。海外渡航旅費助成金の決算報告も、配布資料に基づきあわせて行われた。

報告事項 その他

1. IASPEI 委員会からの連絡事項
 佐竹 IASPEI 委員会委員長より、IUGG が新たにフェローおよび若手研究者を対象とした表彰制度を設けることについて説明が行われた。特に若手研究者の推薦の締め切りが6月であり、日本地震学会からの推薦候補

者を日本学術会議 IUGG 分科会へ短期間に申請する必要があることから、代議員に向けて、適当な研究者の推薦について速やかに検討していただきたいとの依頼があった。

2. 「行動計画 2012」に基づく活動報告ほか

加藤会長より配布資料に基づき、「行動計画 2012」に基づく、「地震学を社会に伝える連絡会議」の設置、「意思の表明」に関する取り決めの手続きに関する規則の制定、表彰委員会の設置、地震予知検討委員会の発展的解消等について説明が行われた。また、関口地震編集担当理事より配布資料に基づき、「地震」と「ニュースレター」の統合方針について説明が行われた。説明後に、加藤会長は、会議の時間が限られるため、「行動計画 2012」に基づく活動について意見がある会員については、日本地震学会事務局へ意見をお送りいただきたいと述べた。

3. モノグラフ「日本の原子力発電と地球科学」の刊行に関する説明

加藤会長から日本地球惑星科学連合 2013 年大会のユニオンセッション「地球科学者の社会的責任」の第 2 部の講演を主にまとめたモノグラフ「日本の原子力発電と地球科学」の刊行について、代議員および会員から意見があったことが報告された。これらの意見に基づき、出版についてより慎重であるべきと考えて会長判断において当初学会ホームページで一般公開を行っていたモノグラフを、閲覧制限を行っている会員専用ページでの公開とする対応を行ったことが説明された。モノグラフの構成について、今後、モノグラフ編集委員会および理事会において検討を行うことが報告された。

加藤会長は、会議の時間が限られるため、モノグラフ「日本の原子力発電と地球科学」の刊行について意見がある会員については、日本地震学会事務局へ意見をお送りいただきたいと述べた。

11. 閉会

以上により本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。